資料　別紙２

# 若年層を対象としたワークショップ

広島市企画総務局　コミュニティ再生課

# 1　事業概要

## 目的

　若い世代を対象としたワークショップを開催し、様々なプログラムを通じて、若い世代の価値観や地域に対する意識を把握するとともに、参加者が地域のことを考えるきっかけとすることで、参加者の郷土愛の醸成を図り、将来の担い手確保につなげる。

## 実施内容

**「地域コミュニティづくりのリアルな現場を学ぶスタディツアー」**

　若い世代が実際に地域等へ出向き、地域活動実践者や新たな担い手候補者と直接お話することで地域等の現状を知るとともに、その中で感じたことや気づきを参加者で共有し、これからの地域コミュニティとの関わり方（できそうなこと、やってみたいこと）を話し合う。

⑴　期間　　令和４年１２月～令和５年２月（計５回）

⑵　参加者　　２０名（広島市内に在住または通勤・通学している20代～40代）

※大学生、子育て世代の社会人、行政職員等

# 2　ワークショップ

## ⑴「地域コミュニティづくり入門　～地域コミュニティの実情を知ろう！～」

　広島市の取組（町内会・自治会等実態調査結果、広島市地域コミュニティ活性化ビジョン）について学習した上で、第2回以降の現地視察先の事前情報や地域への聞き取りのポイント等を把握した。

・日時　令和４年１２月８日（木）　１９：３０～２１：００

・場所　ポートクラウド（広島市中区基町5－44　広島商工会議所ビル９階）

# 2　ワークショップ

## ⑵「スタディツアー①②③　～地域コミュニティの現場を巡ろう！～」

地域等へ出向き、各種地域団体等の活動実践者や新たな担い手候補者から活動内容や課題等について話を聞くとともに、実際に活動へ参加することを通じて、地域の現状を知る。

【視察先】

①早稲田学区（早稲田学区社会福祉協議会）

・日時　令和４年１２月１７日（土）　１０：００～１２：３０

②みどり坂学区（みどり坂町内会）

・日時　令和５年　１月１５日（日）　１０：００～１２：３０

③JR可部駅東口周辺（噂通りの会）

・日時　令和５年　１月２９日（日）　１０：００～１２：３０

【内容】

・活動実践者から取組紹介・対話、新たな担い手候補者との対話

・活動現場視察、まち歩き

・参加者の振り返り、学びの整理・共有

# 2　ワークショップ

## ①早稲田学区

### 視察先の紹介

○広島市東区の牛田山南側中腹部の丘陵地に位置し、緑豊かで、広島市街の眺望を望むことができる。

○まちづくりの仕組みとして、早稲田学区社会福祉協議会の構成団体（各種地域団体）から人材を結集し、課題に対する解決策を検討する組織「７つのネットワーク」を設置し、各種地域団体の連携を強め、効果的・効率的な活動を実施している。

○視察当日は、このまちづくりの仕組みを紹介いただくとともに、「７つのネットワーク」が検討した課題解決策の企画案を提案する会議を実際に見学し、出席者との対話を行った。

# 2　ワークショップ

## 参加者の感想

○課題解決策の検討に特化した横ぐし組織を設置する仕組みによる若い世代の参加は、将来の担い手候補の発掘だけでなく、活動に刺激や多様性をもたらし、世代間のギャップを埋める役割も期待できる。

○ある程度、町内会に強制的に参加せざるを得ない環境（くじ引きなど）でも、いざ関わってみたらよい面もあったという気づきは大切だと感じた。

○自由に意見を出し合える雰囲気づくりが、良いアイデアに繋がっていくのだと感じた。

# 2　ワークショップ

## ②みどり坂学区

### 視察先の紹介

○広島市安芸区の北部にある山の斜面に位置し、緑の山並みと大らかな空に包まれた良好な環境である。また、JR瀬野駅と住宅団地の標高差約200メートルを結ぶ交通システム「スカイレール」がある。

○従来の「地縁型」組織の結びつきを大切にしつつ、地域の課題や活性化をテーマとして、地域住民だけでなく、地域外の人も関わる「テーマ型」コミュニティが融合した組織づくりに取り組んでいる。

○視察当日は、この取組について紹介いただくとともに、活動に関わる地域内外の方との対話や地域のにぎわいづくりの一環として公園などに設置したウッドデッキやコンテナハウスを見学した。

# 2　ワークショップ

## 参加者の感想

○地域住民だけでなく、地域外の人も受け入れようという動きは新しい発想だと感じ、住んでいる場所にとらわれないコミュニティも新たなコミュニティの形の１つになっていくと感じた。

○良い意味でサークル活動に近い雰囲気があり、会長や役員の関係性が良く、様々な活動を行うことができる原動力なんだと感じた。

○新しいことにも積極的になってくれるリーダーや、そうして実施した活動に理解を示してくれる住民の存在も必要だと感じた。

# 2　ワークショップ

## ③噂通りの会

### 視察先の紹介

○「自分たちの街は自分たちで面白くする！」という志を持ったＪＲ可部駅東口周辺で飲食店やホテル等を営む事業者が集まり、立ち上げた任意団体。

○ＪＲ可部駅東口前の道路を「噂通り」と名づけ、人が集まるイベントを開催するなど、可部地域の活性化やにぎわいの創出に取り組んでいる。

○視察当日は、この取組について紹介いただくとともに、会のメンバーから活動への思いを伺った。また、「噂通り」を実際に歩きながら説明を受けた。

# 2　ワークショップ

## 参加者の感想

○可部を盛り上げるという共通の目的の元に集まって活動しており、目的が明確であるため、地域のために行動したいという意欲のある人が想いを共有しやすいのだろうと思った。

○地域に関わることの楽しさや憧れを感じることのできる取組で大変刺激的だった。

○まちづくりのためのブランド力に関心した（企画、アイデアなど）。

# 2　ワークショップ

## ⑶「これからの地域コミュニティとの関わり方を考えるワークショップ」

第2回～第4回の現地視察を踏まえ、感じたことや気づきを参加者で共有、分析を行うとともに、これからの地域コミュニティとの関わり方（できそうなこと、やってみたいこと）を話し合った。

・日時　令和５年２月４日（土）　１３：００～１６：００

・場所　ポートクラウド（広島市中区基町5－44　広島商工会議所ビル９階）

【内容】

・スタディツアーの振り返り

・グループに分かれて、各議題についてワークショップ

議題１　こういう地域コミュニティには関わりにくい

議題２　こんな時に地域コミュニティが必要

議題３　こういう地域コミュニティなら関わりたい

# 2　ワークショップ

# 2　ワークショップ

## 各議題で出た主な意見

**議題１　こういう地域コミュニティは関わりにくい**

○人間関係…関わると抜け出せない、閉鎖的、特定のグループが仕切っている　など

○雰囲気…ネガティブ発言が多い、意見が言えない　など

○運営…既存のやり方に固執、会長の権限が強い、年齢層が高すぎる、目的が不明確　など

○会議…一部の人の意見で話が進む、話し合いのルールがない　など

○負担感…時間がかかる、全て任される、断りにくい、過度な期待　など

○広報…情報のやりとりが面倒、住民への取組の周知不足　など

**議題２　こんな時に地域コミュニティが必要**

○つながり…引っ越したとき、相談したいとき、寂しいとき、定年後の居場所づくり　など

○愛着…地域を好きになりたい、歴史を守りたい、文化を知りたい　など

○子ども・高齢者…子育て中の情報共有、子どもが集まって楽しいことを行うとき、一人暮らし高齢者の見守り　など

○災害…防災、災害時の対応（避難）、停電や断水したとき　など

○防犯…子どもの安全、未然に防ぐ地域の目　など

○環境美化…ゴミ捨て場の清掃、河川の清掃、みぞ掃除　など

# 2　ワークショップ

**議題３　こういう地域コミュニティなら関わりたい**

○人間関係…みんなで一緒にという意識がある、楽しそうに活動、関わる人が固定されない　など

○雰囲気…やりたいことが提案できる、意見が言いやすい、自由度が高い、前向きな議論　など

○運営…年功序列でない、意見が反映される、会議が夜や土日、オンラインを活用した会議、目的や活動時間が明確　など

○行事…新しい取組に意欲的、行事が盛ん、参加したくなる行事がある　など

○関わり方…可能な範囲で関われる、短期間の活動もある、程よい距離感（近すぎず遠すぎず）など

○世代…参加世代のバランスがとれている、世代間で溝がない　など

○構成員…企業やNPO等も関わっている

# 3　まとめ

○ワークショップを通じて、地域コミュニティの必要性を感じている若い世代は確実に存在することが分かった。

○例えば、地域コミュニティへの入口が「くじ引き」などといった止むを得ない形で始まったとしても、若い世代が活動する中で「楽しさ」や「意義」を見い出すことができれば、継続した活動につながっていく可能性がある。

○若い世代にとって、意見や新たな提案を出しにくい雰囲気の組織は関わりにくい。可能な範囲で無理なく参加でき、楽しく活動することができる雰囲気、環境を作ることが重要である。

○また、若い世代と地域コミュニティの関わりを増やすためには、会議を夜や土日に開催にする、オンラインを活用して開催するといった工夫も効果的である。